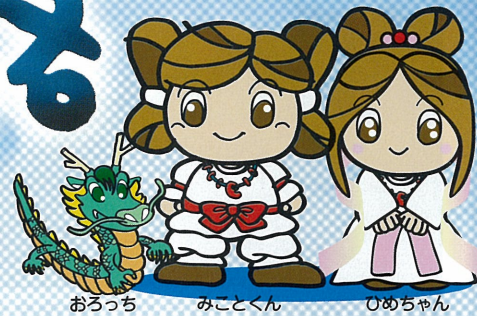


# ふれあい 放水路

vol.182

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



おろっち みことくん ひめちゃん

## 特集

### 斐伊川放水路1000年の森づくり



川が好き川にうつった空も好き

7月は河川愛護月間です

## Information

### 出水期に備えて 斐伊川水防演習を実施

五月三十日、雲南市の斐伊川河川敷において、国土交通省・島根県・水防管理団体をはじめとする関係機関が参加し、斐伊川水防演習を実施しました。当日は各機関が連携をとりながらシート張りや土のう工など水防工法の訓練を行いました。それらの工法の中でも斐伊川オリジナルの伝統工法「出雲結」は毎年実演を行いながら、先人の知恵と技術を受け継いでいます。



「出雲結(いずもゆい)」とは、天井川である斐伊川が決壊した場合の止水工法として、斐伊川で独自に発達した工法です。ちなみに「居相撲結(いずもゆい)」ともいわれ、相撲の祖、野見宿禰(のみのすくね)が考案したと伝えられています。



### 出水期前 一斉点検を実施

今年度の出水期をむかえるにあたり、堤防の決壊等の被害を未然に防ぐため、四月一七日に斐伊川、六月一二日は神戸川において一斉点検を行いました。堤防・護岸・樋門などの河川管理施設、また橋梁などの許可工物について変状等が発生していないか、徒歩による目視点検を行いました。



地域を守る堤防を、いざという時のためにしっかり確認。皆さんもし異状を見つけたらご連絡下さい。

### 工事発注 情報

- 境島地区掘削工事外その2工事 H21.4.4 ~ H22.1.29 (株)出雲土建
- 朝山地区護岸外工事 H21.3.24 ~ H22.1.29 (株)増岡組
- 半分右岸護岸外工事 H21.3.24 ~ H21.10.30 (株)中筋組
- 上流部用地管理工事 H21.4.16 ~ H22.3.31 出雲土建(株)
- 開削部用地管理工事 H21.4.4 ~ H22.3.31 (株)浜村建設
- 神戸川堤防除草作業 H21.4.14 ~ H21.12.25 出雲グリーン工業(株)
- 高松地区低水護岸外工事 H21.3.24 ~ H22.1.29 (株)フクダ
- 渡河施設基礎撤去外工事 H21.3.20 ~ H22.1.29 今岡工業(株)
- 下流部用地管理工事 H21.4.1 ~ H22.3.31 岩成工業(株)
- 土砂運搬設備撤去工事 H21.4.17 ~ H21.9.30 (株)松原産業建設
- 工事用道路整備外工事 H21.5.16 ~ H22.3.31 出雲土建(株)



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。問い合わせ先:ふれあい放水路担当

今年で10年目 これまで植樹された木々は？

# 斐伊川放水路1000年の森づくり

## ① 今年も新たないのちを植樹しました

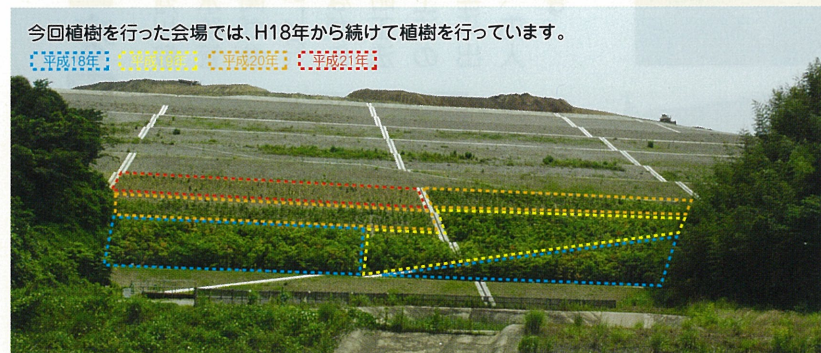
今年で10年目となる斐伊川放水路1000年の森づくりは5月27日に開催されました。

当日は横浜国立大学名誉教授 宮脇昭先生のご指導のもと、出雲市内の小学校の皆さんを中心に約450人が参加しました。

みんな斜面にてこずりながらも、楽しく約2,400本の木を植樹できました。少しずつ育って大きな森に育つのが今から楽しみです。



今回植樹を行った会場では、H18年から続けて植樹を行っています。  
〔平成17年〕〔平成18年〕〔平成19年〕〔平成20年〕〔平成21年〕



比べてみると成長がわかるね。

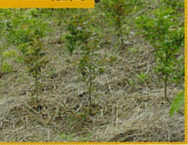
H18植樹



H19植樹



H20植樹



すいぶん森のようになったね

青々と育ってきたね

少しずつ育ってきたよ

## ③ 9年経過した向原 H12 H13



神戸川の河口付近に植樹された木々はどんどん伸びて、森のたたずまいを見せていました。

## 平成12年から6万本以上の植樹を行っています



## ② 最初に植樹した場所は9年経って…

平成12年、最初に植樹が行われた場所のひとつが放水路ふれあいセンター周辺です。それから9年経った今、みんなが植樹した木々はどうなっているのでしょうか？



森の中に足を踏み入ると、ひんやりとした空気に包まれます。9年でこんなに成長するなんてびっくりです。また、木が生えているところの地面を見ると雑草がほとんどありません。これも宮脇方式の植樹の効果なんです。

## ④ 6年経過した菅沢 H15



## 宮脇昭氏が提唱する森づくり「宮脇方式」とは



横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏

### 安定した森をみんなの手で

その土地に昔から生えている樹種たちを選定し、多種類の苗を密集して植えることにより自然淘汰に任せて強い森をつくる方式です。本来なら200年から300年かけてつくられる森が、宮脇方式によって20年から30年で安定した森に変わっていきます。

斐伊川放水路1000年の森づくりでは宮脇氏のもとこの方式で植樹を行っています。



1000年の森づくりでは、シイ・タブ・カシ類を中心に60種類以上の樹種が植樹されています。

## なぜ森づくりをするの？

事業によって生じた斜面を崩れにくくするほか、多様な生物の育成環境の保全、保水能力向上による洪水の緩和、水質の浄化、地球温暖化を抑えるなど様々な効果を期待し森をつくります。

